



ご取材のご案内

2009年7月16日

報道用資料 全4枚

関西6女子大学対抗 料理の熱闘甲子園!

## 第1回「葉酸たまご甲子園」8月8日開催

～妊娠・出産に大切な栄養素「葉酸」たっぷりのたまご料理を競う～

主催：一般社団法人 葉酸と母子の健康を考える会 共催：たまご研究会

後援：JA全農たまご株式会社、株式会社ファーマフーズ、大阪ガス株式会社

一般社団法人 葉酸と母子の健康を考える会(京都市西京区)では、元気な赤ちゃんを産むために大切な栄養素「葉酸」の役割を多くの女性に知っていただくこと、女子大生たちが葉酸たまご料理を競う、第1回「葉酸たまご甲子園」を、8月8日(土)に開催します。

当会が実施した「葉酸」意識調査では、20～30代の女性の74.1%が「いつか出産をしたい」と回答しています。出産を願う女性が多いものの、元気な赤ちゃんを産むために大切な栄養素「葉酸」は、日常の食生活では不足しているのが現状です。「葉酸たまご甲子園」は、効率よく手軽に葉酸がとれる“葉酸たまご”を使った料理コンテストで、元気な赤ちゃんを産む体づくりの大切さを学んでもらおうというものです。

コンテストは、“葉酸たまご”を生かした料理で、1日の葉酸摂取量 = 400 $\mu$ g(マイクログラム)以上(妊婦1日必要摂取量)に貢献できるような料理を競います。1チーム2～3名で、【一般献立部門】と【スイーツ部門】で調理を行ない、葉酸含有量・アイデア・インパクト・手軽度(料理しやすさ)および味などを総合審査します。参加校は、大阪樟蔭(おおさかしょういん)女子大学、神戸女子大学、京都女子大学、同志社女子大学、奈良女子大学、武庫川(むこがわ)女子大学の関西6女子大学で、栄養学を学ぶ女子大生が、もう一つの熱闘甲子園をくりひろげます。

ご多忙の折、大変恐縮ですが万障お繰り合わせの上、ご取材賜りたくご案内申し上げます。誠に勝手ながら8月4日(火)までに別紙の出欠確認書にご記入いただき、FAXにてご返信下さい。

### 「葉酸たまご甲子園」実施概要

日時：2009年8月8日(土)	内容：10:20～開会式・選手宣誓
10:20～15:30(受付開始10:00)	10:40～一般献立部門調理
	12:10～一般献立部門審査
会場：大阪ガス生活誕生館 DILIPA	13:10～スイーツ部門調理
吹田市千里万博公園1-1	14:40～スイーツ部門審査
TEL：06-6878-8061(代)	15:10～表彰式・閉会式

各部門(献立、スイーツ)優勝チーム校には、JA全農たまご株式会社より「しんたまご」1年分が、両部門の総合優勝チーム校には、JA全農たまご株式会社よりJA関連商品一式、ファーマフーズ株式会社より韓国旅行(2泊3日)、大阪ガス株式会社より新型ガス調理器一式が贈られます。また、「しんたまご」他のパッケージにて、この3チームのレシピが紹介されます。

### 本件に関する報道関係者のお問合せ先

葉酸と母子の健康を考える会 PR担当 株式会社ブレインズ・カンパニー 荒川、越水

TEL：03-3496-1091 FAX：03-3496-2216 E-mail：[n-arakawa@pjbc.co.jp](mailto:n-arakawa@pjbc.co.jp)

(イベント当日連絡先：090-4717-3006 荒川)

## 【参加大学の紹介】

### 武庫川女子大学（献立部門：1、スイーツ部門：1）

生活環境学部食物栄養学科調理科学研究室と調理学研究室のメンバーがメニューを考えました。献立部門では、面倒なホワイトソースの代わりに葉酸たまごを使った即席ソースでひと工夫します。

#### 【一般献立部門】

チーム名「葉酸よーさん食べよう」 / 料理名：たまみそグラタンと愉快的仲間たち

#### 【スイーツ部門】

チーム名「COOKIE and BEANS」 / 料理名：赤ちゃんすくすくママロア

### 神戸女子大学（献立部門：1、スイーツ部門：0）

NHK『ジャルジャルのフレ×2！部活』に出演経験もあるパン研究会顧問の堀田ゼミのメンバーが挑戦。「休日の昼食」をイメージした献立を考えます。

#### 【一般献立部門】

チーム名「ピフィドオレンジ」 / 料理名：ふわふわ オムレツDON! とぷるぷる コンソメサラダ



ふわふわたまごで勝負！

### 奈良女子大学（献立部門：1、スイーツ部門：0）

奈良の食材を活かしたメニュー開発を行なう「奈良の食プロジェクト」で、奈良漬を使った「奈良のかすていら」などを開発したメンバーも参加。

#### 【一般献立部門】

チーム名「あすかるビー」 / 料理名：夏バテ退散！ 葉酸たまごのスタミナワンプレート

### 京都女子大学（献立部門：1、スイーツ部門：2）

家政学部食物栄養学科のたまご博士、八田教授と一緒に「黄身返したまご」のTV出演も経験。コンセプトは「簡単・美味しい・おしゃれ」な料理。

#### 【一般献立部門】

チーム名「RizVague(リズバグ)」 / 料理名：桜えびとサニーレタスの彩りパスタ “Pâte(パトゥ) colorée(コロレ)” ほか

#### 【スイーツ部門】

チーム名「0クラブ」 / 料理名：「たまごばくだん」蒸しケーキ

チーム名「葉酸ニコニコ+」 / 料理名：ようさん和ろーる



甲子園に向け試作に真剣

### 同志社女子大学（献立部門：1、スイーツ部門：3）

食物研究会と生活科学部食物栄養科学調理学研究室のメンバーが参加。献立部門では、ほうれん草、卵と一緒に沖縄豆腐を用いてチャンプルーにします。スイーツ部門「京の夏」は、京の夏の日をイメージしています。

#### 【一般献立部門】

チーム名「MOG<sup>2</sup>」 / 料理名：葉酸たっぷりナシゴレンチャンプルー

#### 【スイーツ部門】

チーム名「D-Skai」 / 料理名：おかしな葉っぱ色ティラミス

チーム名「もっちーさんと食研の仲間たち」 / 料理名：『京の夏』～朝露・灼熱・夜風～

チーム名「パンダコパンダ」 / 料理名：HERO プリン

### 大阪樟蔭女子大学（献立部門：1、スイーツ部門：0）

7月26日のオープンキャンパスでは葉酸たまご入りのメニュー試食会も開催予定です。葉酸がよーさん（ぎょーさん）入った夏らしい献立です。

#### 【一般献立部門】

チーム名「ひょこTON」 / 料理名：葉酸、よーさん入れました



葉酸がよーさん入った料理を考案中

## 【審査員】

- ・大井静雄氏（東京慈恵会医科大学脳神経外科教授、葉酸と母子の健康を考える会会長）
- ・的場輝佳氏（関西福祉科学大学健康福祉学部教授、日本調理科学会会長）
- ・本多京子氏（医学博士、管理栄養士、NPO 日本食育協会並びに日本食育学会理事）
- ・碓井将夫氏（流通科学大学サービス産業学部教授、辻調理師専門学校・辻製菓専門学校 TCI 事業部事業部長）

## 【葉酸について ～日本女性は葉酸不足、妊娠前から葉酸摂取を～】

葉酸は、水溶性ビタミン B 群の一種で、母親が十分に摂取することにより、赤ちゃんの二分脊椎症<sup>にぶんせきついしょう</sup>のリスクを下げるのがわかっています。日本では、2000 年に厚生労働省が葉酸摂取の勧告を行ない、2002 年には母子手帳へ必要性を記載するなどの葉酸認知策をとりましたが、年々、二分脊椎症は増加しており、妊婦の約 6 割は葉酸不足に陥っているのが現状です。一方、米国をはじめとする先進諸国では、毎日食べるシリアルなどの穀物に葉酸添加を義務づけるなど徹底した対策がとられ、二分脊椎症は急激に減少しています。

赤ちゃんの脳と脊椎は、妊娠初期の 6 週目までに完成します。その時期は、妊娠に気づいていないお母さんがほとんどです。妊娠が判明してから葉酸をとったのでは、二分脊椎症のリスクを下げる効果が得にくいいため、妊娠を願う女性は日頃から葉酸をとる自意識をもつことが重要なのです。

脊椎が体表に飛び出す先天性疾患。無事出産しても、歩行などに障害が残ることがある。

## 【葉酸たまごについて】

「葉酸たまご甲子園」では、通常のだまごより 2 倍の葉酸が含まれている JA 全農たまご「しんたまご」をメイン食材として実施されます。葉酸は、緑黄色野菜や果物などにも多く含まれていますが、加熱調理で大半が失われてしまい、日常の食生活からでは十分にとれません。

「しんたまご」は、加熱調理しても 80% 以上の葉酸が残る上、体内での吸収率も高く、葉酸をとるためには、毎日手軽に食べられる最適の食材といえます。



JA 全農たまご「しんたまご」

### < 葉酸と母子の健康を考える会 >

葉酸と母子の健康を考える会は、葉酸摂取の重要性、葉酸が健康に果たす役割を普及・啓発するため、大井静雄氏（東京慈恵会医科大学脳神経外科教授 / 同大学病院総合母子健康医療センター教授 / ドイツ・ハノーバー国際神経科学研究所 (I.N.I) 脳神経外科教授）を発起人として、2007 年に活動を開始し、2009 年 5 月に一般社団法人化したしました。女性を取り巻く環境の変化や、葉酸にまつわる認知の現状について調査を行ない、積極的に情報発信をしていきます。

当会では、葉酸の認知向上・摂取推奨活動の一環として、2007 年より 4 月 3 日を「葉酸の日」に制定

正式名称： 一般社団法人 葉酸と母子の健康を考える会

会 長： 大井静雄（東京慈恵会医科大学脳神経外科教授）

代表理事： 金武祐<sup>きむむしゅう</sup>（株式会社ファーマフーズ 代表取締役社長）

住 所： 〒615-8245 京都市西京区御陵大原 1-49

T E L： 050-3469-5105

E-mail： [web0403@yo-san.jp](mailto:web0403@yo-san.jp)

U R L： 葉酸と母子の健康を考える会 <http://www.yo-san.jp/>

本件担当： 事務局 源 伸介